

公益財団法人 メイト公德体財団

メイト公德体財団理事長 挨拶



理事長：赤岩達重

常日頃から、公益財団法人メイト公德体財団の運営にご協力を頂きまして、心より御礼申し上げます。

この夏は異常な猛暑でした。クーラーを効かせた部屋でリオ五輪のテレビ放送に釘付けになった夏でもありました。日本選手の予想をはるかに上回る活躍に、暑さを忘れて快哉を叫んでおりました。

特に印象深かったのが、男子体操個人総合で金メダルを取った内村航平選手の2位に甘んじたウクライナのオレグ・ベルニャエフ選手のインタビューでの潔さには感服させられました。敗者が勝者を称えてこそそのスポーツマンシップです。オリンピック4連覇を目指した女子レスリングの吉田沙保里選手も決勝で敗れてその後の談話で「初めて敗者の気持ちを知ることができた」と言っていました。



金メダルを獲得することを目標にして、それに向かって自分に打ち勝って努力を重ねていく。この事が尊いことであり、若い人にはこの点を学んでほしいと思います。困難に立ち向かい、挑戦し続ける心、諦めない心を養う、スポーツに取り組む中で一番学んでほしいことです。そうした経験は実社会に出てどれほど多くの糧と原動力をもたらしてくれるかを指導者は伝えていってほしいと思います。またスポーツできる環境を提供するのは、大人の仕事です。今回のオリンピックも国のトレーニングセンターを整備し、メダルを獲れる環境をつくった成果であると言えます。



また、陸上女子5000mの予選で米国の選手と一緒に転倒したニュージーランドの選手を助け起こし、共に手を携えてゴールした姿は勝敗や国境を越えた平和の祭典であるオリンピックの憲章に則った素晴らしい光景が見られたことも喜びの一つでありました。

願わくば、私ども財団が支援させていただいているスポーツ少年団の中からオリンピック選手が出てくるのを見たいものです。

今年（2016年度）の事業

1. スポーツ少年団への助成事業

助成対象
15団体

助成金額
1団体あたり
12万円以内



2016年度助成金授与式にて

2. 第9回記念講演会

日程：2017年2月19日（日）

講師：杉山愛先生
（スポーツコメンテーター・元テニスプレーヤー）

演題：「**世界一のリーダーシップ力**」（予定）

場所：学び館「サエスタ」
（和気郡和気町父井原）

前年（2015年度）の主な活動報告

2015年6月25日 第2回 理事会開催

2015年6月25日 第2回 評議員会開催

2016年1月24日 第8回記念講演会 開催
講師：小久保 裕紀先生
演題：『一瞬に生きる』



小久保裕紀先生

※講演会の様子は裏面をご覧ください。

今年（2016年度）助成金 採択団体のご紹介

今年度の助成団体(全15団体)を以下にご紹介致します。

<ご紹介内容>

団体名 [住所]

児童数	年間試合数(練習試合数・大会での試合数)	
練習曜日	1回の練習時間	練習の参加率

ソフトボール

高野スポーツ少年団 女子ソフトボールクラブ

23名	94 試合 (18試合・76試合)
月・土・日	4 時間 98 %

美咲町スポーツ少年団

23名	-
火・木・土	2 時間 96 %

佐伯ソフトボールスポーツ少年団

13名	65 試合 (8試合・57試合)
火・木・土・日	3.5 時間 100 %

ミニバスケットボール

志戸部スポーツ少年団

20名	30 試合 (10試合・20試合)
月・水・金	7 時間 92 %

長船ミニバスケットボールスポーツ少年団

26名	32 試合 (14試合・18試合)
水・金	2-3 時間 100 %

ハレーボール

Cat'sファイヤー

7名	-
月・木	2 時間 90 %

日生ハレーボールスポーツ少年団

11名	19 試合 (10試合・9試合)
水・木・土	2 時間 90 %

城南ハレーボールスポーツ少年団

8名	70 試合 (40試合・30試合)
月・水・金	3 時間 98 %

清泉スポーツ少年団 ハレーボール部

15名	50 試合 (13試合・37試合)
火・金・土	2.5 時間 100 %

剣道

久代剣道スポーツ少年団

21名	20 試合 (4試合・16試合)
月・水・金	2 時間 97 %

野球

美作ジュニアベースボールクラブスポーツ少年団

17名	28 試合 (10試合・18試合)
土・日	4 時間 95 %

桜が丘レッドファイヤーズ

10名	100 試合 (70試合・30試合)
土・日	5 時間 100 %

長船フレンズ軟式野球スポーツ少年団

20名	50 試合 (30試合・20試合)
土・日	6 時間 90 %

ソフトボール・サッカー・ミニバスケットボール

津山市新林田スポーツ少年団

25名	50 試合 (12試合・38試合)
土・日	3 時間 80 %

サッカー

ソレユ吉永サッカースポーツ少年団

80名	100 試合 (50試合・50試合)
火・土	2 時間 90 %

前年（2015年度）助成団体の活動報告

《2015年度の助成団体（全14団体）》

- ドルフィンズスポーツ少年団
- 瀬戸内ソフトボールスポーツ少年団
- 女子小学生ソフトボール「フレンズ」
- 津山ヤングマスターズスポーツ少年団
- 備前ビックテイクパース
- 三町連合スポーツ少年団
- ONBウイングス
- 陵南ミニバスケットボールスポーツ少年団
- 山陽剣道教室スポーツ少年団
- 吉永剣道スポーツ少年団

- 高田スポーツ少年団
- 瀬戸サッカースポーツ少年団
- 本荘ハレーボールスポーツ少年団
- 山陽スポーツ少年団さくら走練

《2015年度活動評価・報告》

スポーツ以外で重視していることについての点数付けを10点満点で行っていただき、それを平均したものが右の表です。
申請時(2015年4月)、活動後(2016年3月末)でそれぞれ評価していただいたところ、全項目での点数が上昇しております。

《練習・試合の状況(14団体平均)》

- 練習日数：2.5日/週
- 参加率：94%
- 2015年度試合数：63試合

《練習・試合以外の活動》

- 廃品回収
- 交流合宿
- クリスマス会
- ボランティア活動
- 駅伝大会
- キャンプ 等々



活動を振り返って (感想文のご紹介)

私は3年間ソフトボールを少年団で頑張ってきました。そして、上達するために、毎日自主練習をしたり、チームのメンバーと声を掛け合って助け合う事の大切さを学びました。苦しい試合の時、緊張するバッターボックスに立った時、仲間の応援が私を勇気づけてくれました。自分も少しでも力になりたいと、一生懸命声を出し、応援しました。
少年団で努力しつづけること、仲間との協力、礼儀、気持ちのいい挨拶等たくさんの事を教えて頂きました。これからもこの教えを守っているいろんなことに挑戦していきたいです。

去年頑張ったことは4つあります。
1つ目は練習で出来ないことがあっても諦めずにやること、2つ目はディフェンスを抜かれないようにすること、3つ目は試合の時に大きな声を出して応援すること、4つ目は試合に出た時に1対1やディフェンスを頑張る事です。
去年出来なかったことがたくさんあるので、練習をなるべく休まず、頑張りたいです。自分ができないことを出来る様にする1年にしたいです。
いい一年になるよう、頑張りたいです。

僕は、スポーツ少年団に1年生から入り、今5年目です。1年1年スポ小の楽しさが増してきて、12人の少ないチームですが、みんな一生懸命頑張っています。
監督、コーチの厳しい指導で時にはつらい時苦しい時もありますが、でも試合に勝った時は、すごく僕たちと一緒に喜んでくれます。そんな監督、コーチが大好きです。
夏にはキャンプ、バーベキューなどいろんなイベントを保護者の人が考えてくれて、僕はまた頑張れる元気ができます。
僕はこの少年団が大好きです。来期6年最後の1年間、下の学年の子をひっぱり、いい少年団にしていきたいです。

メイト公徳体財団が目指す人づくり

理念

徳育・知育・体育の成長を図るため、スポーツ活動を通じて、世界に通用する豊かな人格の涵養と自ら学び、個性を伸ばし、心身ともにたくましく、社会の発展に寄与し、誇りを持てる青少年を育成する指導者を養成する。



自立する青少年

助け合う・学び合う・鍛え合う

知育

自らの可能性を信じ、知識・技術の練磨に努め自分を高める努力を重ねる。

徳育

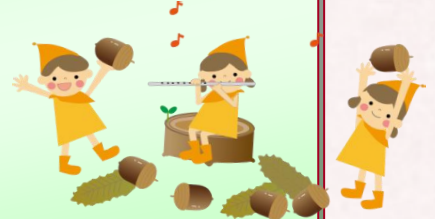
個性を尊重して、社会的規範、感動する心、思いやりや感謝の心など豊かな人間性を身につける。

体育

スポーツを通じて他者と協調し心身の健全な育成につとめ共に生きる。

5つの誓い

1. さわやかな挨拶をします
2. 思いやりと感謝の心を持ちます
3. 率先して、目標に向かって常に努力します
4. 自らの可能性を信じ、知識・技能の習得に努めます
5. スポーツを通じて、心身を鍛錬し自分自身を確立します



第9回 公益財団法人メイト公徳体財団記念講演会

〔演題〕

世界一のリーダークラシック

とき 2017年2月19日(日) 13:00~

ところ 学び館「サエスタ」和気郡和気町父井原

4歳でテニスを始め、15歳のときに日本人初の世界ジュニアランキング1位を獲得し、17歳でプロに転向、以後17年間にわたってプロツアーを転戦してきた。シングルス492勝(優勝6回)、ダブルス566勝(優勝38回)、グランドスラムのダブルス優勝4回。ダブルスでは世界ランク1位に輝き、オリンピックにも4回出場。グランドスラムのシングルス連続出場62回の世界記録を樹立するなど、日本を代表するプロテニスプレーヤーのひとり。2009年に現役を引退し、現在は様々な後世育成事業を手掛ける他、スポーツコメンテーターとして活動するなど、多方面で活躍中。

世界一の連続出場記録を生み出した継続力の秘訣、プロとしての勝負の極意、また、過酷な日々の中で行ってきた健康・自己管理法や大スランプを乗り越えたエピソードなど、プロアスリートとしての経験談は必聴です。

スポーツコメンテーター
元プロテニスプレーヤー

杉山愛さん

公益財団法人 メイト公徳体財団

住所 / 〒709-0514 岡山県和気郡和気町佐伯526-3
TEL / 0869-88-0243 FAX / 0869-88-0248
担当 / 後谷・石原
ホームページ / <http://www.mate.or.jp/>

メイト公徳体財団へのお問い合わせはこちらまでお願いいたします。

